JILR 研究試薬用コラーゲン

コラーゲンタイプI ニワトリ真皮由来(ペプシン可溶化) (PSC-1-300-10)

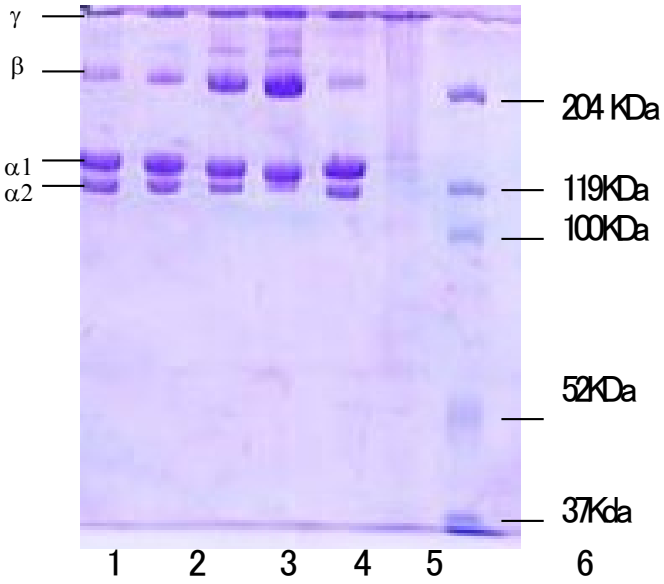
由来　　:ニワトリ真皮
可溶化法:ペプシン可溶化 (文献1)
濃度　　:2mg/ml
溶媒　　:5mM酢酸溶液
規格　　:0.45μmフィルター濾過済

使用上の注意

- 直射日光を避け，冷蔵にて保存して下さい.
- 本品は冷凍状態にて輸送しております．使用する前に溶かしてお使いください.
- 解凍後は凍結融解をなるべく避けてご使用ください.
- 本コラーゲンは研究試薬用です．研究目的以外では使用しないで下さい.

電気泳動によるコラーゲンの分析　(Fig.1)

精製後のコラーゲン(製品)をLaemmliの方法(Nature 227，680-685,(1970))に準じて電気泳動を行った．製品は純度の高いI型コラーゲンであり(95%以上)，γ鎖(分子量300kDa)，β鎖(分子量200kDa)，α鎖(分子量100kDa)共に存在する.



1, chick type I collagen
2, porcine type I collgen (pig)
3, tilapia collagen (fish)
4, plaice collagen (fish)
5, frog collagen
6, molecular marker

Fig.1

文献1　マトリックス研究法(1) p14-20　出版　コラーゲン技術研修会
文献2　Hattori et al. *J. Biochem.* **125,** 676-684 (1999)など
文献3　マトリックス研究法(4) p95-100　出版　コラーゲン技術研修会

JILR 一般財団法人 日本皮革研究所 Japan Institute of Leather Research

分析センター
〒302-0017 茨城県取手市桑原520-11
Tel: 0297-71-3020
e-mail: jutaku@jilr.or.jp